

2022年度 タスクフォース 知財政策動向TF



2023年3月9日

知財政策動向TF リーダー

浅野 弘揮

(日鉄諮詢(北京)有限公司(日本製鉄北京事務所))

1. 参加企業・団体

本田技研工業（中国）投資有限公司	富士通（中国）有限公司	日立（中国）有限公司
日産（中国）投資有限公司	東芝（中国）有限公司	三菱電機（中国）有限公司
京瓷（中国）商贸有限公司	奥林巴斯（北京）销售服务有限公司	威可楷（中国）投資有限公司
ソニー（中国）有限公司	安川電機（中国）有限公司	富士電機（中国）有限公司
花王(中国)研究開発中心有限公司	AGC（中国）投資有限公司	JETRO香港事務所
日鉄諮詢(北京)有限公司(日本製鉄北京事務所)		

順不同、16社・団体が参加

2. テーマ・活動方針・内容

リーダー:日本製鉄(浅野)、副リーダー:JETRO香港(松本→島田)

- ☆ 中国現地に居なければできないことをやりましょう！！
- ☆ 個社ではできないことをやりましょう！！
 - ◆ 個社でフォローするのは非効率、中国IPGの場を活用。
 - ◆ **個社では実現が難しい「有識者ヒアリング」を複数回設定。**
 - ◆ 自社ビジネスに有利な知財戦略の立案・実行に繋がられることを期待。

【2022年度活動内容】

(1)「**有識者との勉強会**」を、**4回開催(隔月)**。

TFメンバー限りという条件のもとで、有識者から「生の情報(ネット検索では得られない最新情報・本音等)」を引き出しましょう！

(4月までに勉強会テーマ・深堀り調査レポートテーマ等の事前アンケート実施、第1回勉強会は6月からスタート。)

① 勉強会前月： **有識者への質問案**(各社1問以上)集約、討議(優先順位付け、メンバー内での事前意見交換)。

[+ 前回勉強会の後月内容実施]

② // 当月： **有識者との勉強会**。

(各自の質問に対する有識者回答・討議内容を各自が文字化→会議録まとめ担当へ送付(会議録作成))

③ // 後月： **会議録をもとにディスカッション・深堀り**(必要に応じ有識者へフィードバック)。

[+ 次回勉強会の前月内容実施]

(2)「**深堀り調査レポート作成(外部委託)**」。

年度の早いタイミングでテーマを選定し、調査・分析内容を十分に検討・精査して発注する。(内容が絞り込めなければ発注しない、)

3. 年間スケジュール

- 第1回：4/15 (金)15:00-16:50 **キックオフ(自己紹介・事前アンケート集計結果)、松本部長レポート紹介**完
- 第2回：5/20 (金)15:00-16:50 **勉強会前月準備、深掘りレポートテーマ議論、(松本レポート)**完
- 第3回：6/17 (金)15:00-16:50 **第1回勉強会 (梶谷先生)** 完
- 第4回：7/15 (金)15:00-16:50 **後月反省・前月準備、深レポ議論、松本レポート、Chinaway意見交換**完
- 第5回：8/19 (金)15:00-16:50 **第2回勉強会 (刘春田先生)** 完
- 第6回：9/16 (金)15:00-16:50 **後月反省・前月準備、深レポ議論、島田レクチャー、Chinaway意見交換**完
- 第7回：10/21(金)15:00-16:50 **第3回勉強会 (李明徳先生)** 完
- 第8回：11/18(金)15:00-16:50 **後月反省・前月準備、深掘レポ進捗紹介(2テーマ)、島田部長レクチャー**完
- ~~第9回：12/16(金)15:00-16:50 **第4回勉強会 (郝敏先生)**~~
- 第9回：1/12(木)10:00-11:50 ~~後月反省~~前月準備、SPEEDAセミナー意見交換会・勉強会**完**
- 第10回：2/17(金)15:00-16:50 **第4回勉強会 (郝敏先生)** 完
- 第11回：3/7 (火)15:00-16:50 **後月反省・深掘りレポート報告会**

上記定期会合に加え、不定期の会合・ヒアリング等が発生する可能性あり。

4. 活動実績

＜ 本TFは「個人単位の登録」～各人が主体的に、メンバー全員で活動～ ＞

第1回(4/15)：キックオフ(自己紹介・事前アンケート集計結果)、松本部長レポート紹介(次頁)

●事前アンケート集計結果

(1) **有識者との勉強会**：①希望テーマ、②勉強会希望内容(関連資料)、③希望講師または推薦講師

産業政策	特定分野の知財関連 テーマ	知財戦略/マネジメント・ 専利導航	知財実務
4件	4件	4件	4件

(2) **深掘り調査レポート**：①希望テーマ、②レポート希望内容(関連資料)

産業政策	特定分野の知財関 連テーマ	地方知財政策	知財戦略/マネジメ ント・専利導航	知財実務
4件	1件	2件	3件	4件

●有識者との勉強会(第1回6/17)に向けて

質問Q：全メンバー(各人1問以上)提出→ 10項目に集約し第1回講師へ提示・事前打合せ完了

第2回(5/20)：勉強会前月準備、深掘りレポートテーマ議論スケジュール確認

●各自コメント(別紙)紹介（梶谷先生資料①～⑤）

- ① 中国のイノベーション動向と社会の変化(2019.3)
- ② 「情報独裁国家」統治のかたち－中国・産業政策と民営企業(2021.7)
- ③ 「幸福な監視国家」の経済学－産業政策・監視技術・文化対立(2022.1)
- ④ 「構造問題解決に向けた最新経済・産業政策」(2022.1)
- ⑤ 習近平政権の成長戦略について「国内大循環」と「共同富裕」は両立するか(2022.2)

●我々の関心事項（順不同）

1. 政府・共産党中央における、経済政策（知財政策含む）の検討・意思決定プロセス
2. 米中摩擦を踏まえた国産化政策（特に、中国が独自開発（標準化含む）に注力する分野）
3. 政府の知財・イノベーション政策が現在の中国の産業構造に与えた影響（個別分野にフォーカス）
4. グリーン環境保護産業（戦略性新興産業の一つ）における重点産業分野と政策
5. 知財政策における「量から質への転換」の背景（「質の高い成長」等）や政策の全体像
6. イノベーションにおける大学の位置づけ、大学発知財の活用政策とスタンス（オープンか独占か）
7. 中国におけるオープンソースの発展状況や中国企業のビジネスモデル
8. オープンイノベーションとスマート製造に関する中国の戦略
9. 中国政府や企業による、技術キャッチアップから経営戦略決定までにおける公開情報（特許情報等）分析の活用
10. 地方ごとの産業政策の特色

第3回(6/17) : 第1回勉強会「梶谷先生(神戸大学)」

●勉強会テーマ : 「中国の産業政策とイノベーション」

1. よみがえる産業政策と中国経済
2. ハイテク企業の育成と「情報独裁」
3. 「政府引導基金」を通じた産業政策とその評価
4. コロナ後の経済成長戦略と「共同富裕」
5. まとめ

- ① 中国政府の産業政策は、確かに特定産業や国有企業を優遇し、「市場をゆがめる」ものもあるが、研究開発への補助金、研究開発費に関する税額控除、複雑なバリューチェーンに対応した制度など多くは現在の経済学の潮流から見ても十分評価に耐えるもの。
- ② 同時に、資源の効率的な配分をもたらすという意味で、経済学的に評価されるものであったとしても、必ずしもリベラルな価値観に合致するものではない。
- ③ 米中対立の要因となっている政府引導基金の存在は、強調されすぎている感あり。
- ④ 2020年以来の大手プラットフォーム企業への締め付けには、国際的な潮流を踏まえた合理的な競争政策、という側面と、「水に落ちた犬を打つ」という過剰な社会制裁的な側面が共存。
⇒これをもって産業政策の後退とは言えない。

第4回(7/15) : 後月反省・前月準備、深レポ議論、松本レポート、Chinaway意見交換

●JETRO香港/松本部長レポート紹介

○専利導航関連

- ・進む、中国版IPランドスケープ「専利導航」に注目を！

https://www.jetro.go.jp/ext_library/1/world/asia/cn/ip/pdf/ip_20220222.pdf

- ・中国における半導体集積回路産業の専利導航分析レポート概要

<https://www.jetro.go.jp/world/asia/cn/ip/analysis/ebfafdcd8b7b9cf3.html>

- ・中国版「特許出願技術動向調査」の紹介

https://www.jetro.go.jp/ext_library/1/world/asia/cn/ip/pdf/rphk_ip20200604.pdf

○知財マネジメント関連

- ・中国版 ISO 56005 国家標準「イノベーションマネジメント～知財マネジメント・ガイダンス～」

https://www.jetro.go.jp/ext_library/1/world/asia/cn/ip/pdf/rphk_ip20210326.pdf

○中国企業動向関連

- ・中国版「知的財産活動調査」2020年版の概要紹介

https://www.jetro.go.jp/ext_library/1/world/asia/cn/ip/pdf/rphk_ip20210526.pdf

○一覧

<https://www.jetro.go.jp/world/asia/cn/ip/analysis.html>

○SEP関連

- ・5G時代の覇権争いに向け法的なロジック強化を急ぐ中国

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2022/87dc29dac8deae6d.html>

第5回(8/19)：第2回勉強会（刘春田先生）

● 中国知识产权法学研究会会长、中国人民大学知识产权学院院长

● 勉強会テーマ：「中国における知的財産政策及び司法環境」

<参考資料>

- ①《民法典》是知识产权的法律母体和精神家园(民法典実施に伴うコメント)
- ②跨越世紀的伟大覺醒——發現創造和知識產權(中國イノベーションに関するコメント)
- ③第三次著作權法修改送審稿的進步和我們的期待(第三回著作權法送審稿に関するコメント)
- ④會議實錄 | 刘春田：知識產權戰略成功實施的基本條件(最近の刘春田先生スピーチ)
- ⑤刘春田先生の最近のコメント(2022-08-05)

● 原文

<https://mp.weixin.qq.com/s/Y7krawGd32aweBBBTvVW6Q>

- ・民法および知的財産制度は、事業環境の法的保護を提供する
- ・私的権利の平等かつ効果的な保護は、ビジネス環境の保護である
- ・外界への開放を堅持し、良好な国際ビジネス環境を構築する

第6回(9/16)：後月反省・前月準備、深レポ議論、島田レクチャー、Chinaway意見交換

【JETRO香港/島田部長レクチャー】

- 「特許審査の品質管理について」
- 「品質管理室での併任業務について」

【深掘りレポートテーマ議論】

＜スケジュール＞

6/20： 昨年度の調査報告書をTFメンバー全員に配布

第4回： 7/15 深レポ議論、Chinaway意見交換

昨年度TFレポート・ppt(配布)

第6回： 9/16 Chinaway意見交換。

→個別2テーマ①「環境保護3R」、②「半導体産業」で仕様書を作成（～11/上旬）

第8回： 11/18 深掘りレポート進捗紹介(2テーマ)・発注準備

第11回： 3/7 深掘りレポート報告会

第7回(10/21)：第3回勉強会（李明徳先生）

中国社会科学院法科大学院特任教授
中国知的財産法研究会常務副会長
国家知的財産専門家諮問委員会委員

●勉強会テーマ：「中国と日本の知的財産戦略実施機関の先進性比較」

- I. 日本の戦略実行の主導的機関
- II. 中国の戦略実行の主導的機関
- III. 中国国家知的財産戦略の最近の動向
- IV. 中国知的財産権制度構築の新たな課題

第8回(9/16) : 後月反省・前月準備、深掘レポ進捗紹介、島田レクチャー

深掘り調査レポート進捗紹介 (仕様書仕上げ作業・発注準備)

● 2テーマ実施

- (1) 「中国標準2035」の知財政策への影響に関する調査及び環境保護事業(3R)への提言
- (2) 半導体分野における「マイクロディスプレイデバイス」(VR/AR製品用途)に関する中国政府の政策や施策、及び当該技術領域の中国/外資企業の動向と関連特許の調査並びにそれらに基づく分析

島田部長レクチャー(その2)

価値評価関連について

- [中国、特許の産業分野別ライセンス実施料・実施料率データを発表<PDF>\(648KB\)\(2022年8月\)](#)
- [中国、特許の価値評価を国家標準化<PDF>\(729KB\)\(2022年8月\)](#)
- [CNIPA、「専利開放許諾の実施料の試算に関するガイドライン\(試行\)」を公表\(2022年10月\)](#)
→このような価値評価に関する種々の発表が、自社の取組においても非常に参考になるのか、あるいは、そうでもないのか等々、率直なご感想をお聞かせいただけると幸いです。

CNIPA公表の推進計画について

- [CNIPA、「知的財産権保護の強化に関する意見」の推進計画を公表<PDF>\(986KB\)\(2022年10月\)](#)
→制度ユーザーである皆さまにとって関心の高い項目はどれでしょうか？
ざっと項目を眺めて気になったもの、目に留まったもののご紹介で構いません。
可能であれば審査関連以外で。理由とともにお知らせいただけますと幸いです。

科技部公表の特別計画について

- [科学技術部、「“十四五”技術要素市場特別計画」を公表<PDF>\(751KB\)\(2022年10月\)](#)
→このような計画が日系企業の皆さまに与える影響としてどのようなことが考えられますでしょうか。
特に想定される影響がない場合もその旨教えていただけますと幸いです。

第9回(1/12) : 前月準備、SPEEDAセミナー意見交換会・勉強会

1. SPEEDA China Consulting Service Team 呂 同蕾 (Manager)

カーボンニュートラルの実現に向けた中国の取り組み

～社会実装プロジェクト・政策動向・技術動向を中心に2022年の振り返りと今後の展望～

<社会実装プロジェクト>

2022年に実装された再生エネルギー発電、エネルギー貯蔵、水素及びアンモニアの活用、CCUS等の社会プロジェクト概要をまとめて、中国エネルギー転換の進捗紹介

<政策動向>

2022年に公表されたカーボンニュートラルの関連政策及び実施細則で示された発展方針を分析

<技術動向>

再生エネルギー発電、エネルギー貯蔵、水素及びアンモニアの活用、CCUS等の国産化状況や重点開発技術紹介

<今後の展望>

上記内容で見えてきた重点開発分野・技術を踏まえて日系企業の商機を提案

2. 永新專利商標代理有限公司 孫 健 (中国弁護士・弁理士)

世界初のカーボンニュートラルのпатентプールの紹介及びプール特許に関する分析

第10回(2/17)：第4回勉強会（郝敏先生）

- 法学博士・教授、国際関係学院 知的財産権と科学技術安全研究センター所長
- 勉強会テーマ：「知的財産権に関わる涉外訴訟及び科学技術競争」
 - ① 知的財産権強国建設の推進を加速する
 - ② トップダウンデザインを絶えず深化する
 - ③ 『綱要』の重点措置
 - ④ 法律規則体系が完備されつつある
 - ⑤ 中国知財法制度の内容が豊富に
 - ⑥ 知財事業の飛躍的な発展を実現する
 - ⑦ 知的財産権のグローバルガバナンスへ深く参与する
 - ⑧ 今後の課題を解決するには、以下の取り組みが必要
 - ⑨ 北京知識産権法院涉外知財訴訟の分析
 - ⑩ その他

来年度[2023年度]募集！！

- 来年度[2023年度]から**準会員メンバーにも広く参加募集**をさせていただきます。
(今年度までは正会員限定)
- **主体的にご参加いただける方**
(前年度同様に誰かに教えてもらう場ではなく、共に勉強する場となります)
- **北京、上海または広州における会合に直接参加できる方**
(個人単位の登録になります)
- **メリハリのあるご参加を、ご自身が興味あるテーマの勉強会ではご活躍を期待！！**
- **正会員・準会員が一体となった自由で有意義な交流(個人単位)**
島田部長レクチャー(JETROレポート)、外部セミナーとのコラボなどの特別企画を通じた積極的な情報交換・意見交換！！
- **「有識者との勉強会」** 年4回開催 [継続]
- **「深掘り調査レポート作成」(外部委託)** [継続]

* 参考 (前年度)2021年度の活動内容

(1) 十四次五カ年計画の学習 (2021.5-9)

- ・メンバー間の相互学習
- ・各メンバーが学習・共有化した資料の纏め (112頁) を成果として取得

(2) 知財強国建設綱要及び知財十四次五カ年計画の学習 (2021.10-2022.1)

- ・政府系シンクタンクによる解説、意見交換 ※参加メンバー限定
- ・ユーザーサイド (北京魏啓学律師事務所) による解説、意見交換

(3) 中国重点産業とその関連する知財政策に関する学習 (2022.1-3)

- ・中国カーボンニュートラル戦略と知財政策に関する解説、意見交換/Uzabase
- ・戦略性新興産業及び関連する発展政策 (特に知財政策) に関する調査レポート作成、解説/Chinaway